

平成24年度 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会
御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金事業提案説明会・審査会

日 時：平成24年6月9日（土）10：00～14：20
場 所：玉穂報徳会館 第3・4会議室

1 開会 事務局

2 会長あいさつ 会長より

3 市民協働型まちづくり事業提案説明及び質疑応答
事業計画書に基づき、5団体より事業説明が行われた。
説明後の主な質疑応答は以下のとおり。

(1) 市民提案事業

事業名：御厨の古道「矢倉沢通り・箱根裏街道を記録に残そう」

提案者：NPO 富士山御殿場ガイド「御厨の風」 （10：05～10：19）

委員A：文化的に残しておきたいことを税金で行うが、看板設置を行ったあとの保全を協働の相手方の行政とどのように行っていくか。

答：各地域との連携の中、これから話し合う中で各地域の人に大切なものとして理解してもらい、保全していく。今後話し合っていく。

事業名：発達障害児・者とその家族に対する療育相談会事業

提案者：NPO 法人発達支援センター御殿場教室 （10：19～10：32）

委員A：予算書の中の会場使用料は減免する前の額か、された後の額か。

答：市民会館第7会議室の利用料2,600円、プロジェクターが1,000円でいずれも減免前の金額。

委員B：事業費に関して全額を補助金で行うようだが、今後補助金事業として終了した後はどのように発展していくつもりか。

答：補助金事業として行う前から行っていたので、戻す形になる。

委員C：チラシはどこで掲載・配布したのか。

答：コープ、カインズ、幼稚園、保育園。

委員C：ということは親がそれを見て参加するかどうか判断するので、例えば自分の子供を発達障害と認めたくない場合は自主的には来ないのでは。

答：現状では親が来ようと思わなければ来れない。周りの方々がお誘いをして来ることができれば。

委員C：保健所の健診などで声をかけられないか。

答：協働事業として、臨床心理士が相談した人に配って頂く。

委員D：昨年度は行政とどのような連携をしたか。また、子ども家庭センターとの共催という形で利用料の減免などを行っていただく話をしたか。

事業名：元気いっぱい おかみさん市

提案者：御殿場おかみさん会 (10 : 32 ~ 10 : 45)

答：昨年度は、協働事業として深く突っ込めなかった。そのように協働できればより良い活動ができた。

委員B：昨年度からの課題は。

答：オープンが10時だったこと。すでに人が集まり、並んでいたその時間が無駄だった。今年度は9時オープンにし、朝の早い人にも対応する。

委員D：御殿場線まつりなどに出演したような、これまでの色々な団体との連携は。

答：お願いをしているが、おかみさん会が小さい団体なので難しい。行政に協力してもらうことで声掛けをしたい。

委員D：色々な相談の中で検討してほしい。

委員A：今回の火力演習など、他の団体がイベントを開催する機会をチャンスとしていくことが多いが、自分たち自らが発信していくエネルギーはあるか。

答：自分たちのエネルギーもあるが、火力演習と重ねることで市外からのお客さんに対してのPRにもつながり、感想を聞いても良い感触だった。駅の通りには店があるが、声をかけても厳しいものがある。行政との協働の中で、それらの問題を解決できれば。おかみさん市だけでなく色々なイベントにつなげたい。

事業名：見直そう御殿場の椿～はじめよう椿とのふれあい～

提案者：御殿場椿の会 (10 : 45 ~ 11 : 00)

委員E：(6月30日開催について) 挿し木をするのか。

答：挿し木を持ってきて親子で植える。今はとりあえず椿の見直しをし始めるところからスタートしたい。また、マップを作り皆さんに還元したい。

委員E：公共の助成金ではなく、全体的に会費を徴収しながら、助成金はもらわないように開催できれば。

事業名：スポーツしよう～富士の麓で手をつなぐかい！～

提案者：駿腕 (11 : 00 ~ 11 : 10)

委員A：広く一般の人に広めることを目的としているのに、なぜ学生や障害者の方限定で無料なのか。障害者の方に負担にならない程度にお金を徴収できないか。また、レフリーの謝礼の1人10,000円は安い方なのか。

答：謝礼についてはかなり安い。普通は1日50,000円くらい。

委員A：広く親しめて誰でも楽しめるとあるが、筋肉がない人も今からできるのか。

答：話をすると、必ず「力がないから」との返事があるが、自分の体験からも、車椅子でも誰でもできる。

4 講評（アドバイザー（牛山教授））（11：10～）

5 閉会

6 市民提案事業審査会（進行：牛山教授）（12：35～）

発表と書類をあわせて審査が行われた。

各提案ごとに、事務局より委員の評価結果の特徴が述べられ、協議が行われた。

評価集計結果

団体名	各委員の合計点平均 = 項目ごとの平均点合計
御厨の風	43.9
発達支援センター	43.5
おかみさん会	42.1
椿の会	36.2
駿腕	37.8

事業名：御厨の古道「矢倉沢通り・箱根裏街道を記録に残そう」

提案者：NPO 富士山御殿場ガイド「御厨の風」 について

委員A：事業としては良いが、協働の相手方に、他の団体がこのような系統の看板を建てたいとなった時どう考えるのか聞いたかった。

委員F：市の景観としての考え方はどうなのか。

委員G：これらの古道を後世に渡って残すことは望ましいが、看板設置後の保全が課題。大きさ的にも設置場所による。審査会で決まればやらなければならないが、今後は管理が必要なものに関しては指導していかなければ。

ファシリ：看板の所有権はどこに帰属するか。

委員D：看板に刻まれる名前はNPOの名前なのであくまで団体の所有物だと思う。ゆえに保全も団体の役割だと思う。

委員G：団体がいつまで存続するか分からない。

委員A：一番もったいないのは看板が作ったところで許可が下りず立てられないことだ。

ファシリ：それを理由に否決はできないので、立てようとする場所の地主らの承諾を

条件に承認するか。

委員G：それは去年の条件だった。

ファシリ：それが見えていないとすると、満額で交付決定をし、実際に地主らの承諾という前提が解決されてから補助金を支出することは可能か。

事務局：可能。

委員G：すべて立てられるかどうかは分からない。

ファシリ：その条件を付して、満額の交付決定でよろしいか。

承認 全額で条件付き交付

(1 2 : 5 5)

事業名：発達障害児・者とその家族に対する療育相談会事業

提案者：NPO 法人発達支援センター御殿場教室

について

委員D：市の相談員はいないのか。

委員H：子ども家庭センターの臨床心理士、家庭相談センター、保健センターとの連携が充実している。一方で、市と団体とは個人情報のあることもあり連携が取りづらく情報が伝わらない。また、臨床心理士が2人いるが多忙で、どのように協働できるか不安。行政、団体、市民がどう関わりあえるか、行政と団体の連携をどう図るかが課題。相談をして終わりではいけない。事業としては良いが、難しい問題がある。

委員A：行政として、今回の様なデリケートな部分には触れているということか。

委員H：行政としても対応を行っている。補完してもらう分には良いが、専門性もないので、そこから先、市民協働事業としてつなげるのは難しい。どのように市民協働につなげ、どう一般の方を取り込むか。

ファシリ：申請書にある「行政側とも確認」とはその程度なのか分からない。事業の紹介ぐらいはできるか。

委員H：できるが、これからもっと綿密な調整が必要。

ファシリ：どのような連携が必要か、担当課・所管課が連絡を取り進めていければ。

委員A：利用料などを減免してあげられないか。減免の基準はどうなっているのか。

事務局：施設ごとに決まりがある。

ファシリ：決算時に減免してもらえば。

委員I：子ども保育関係や保健センターに子ども保育課からポスターの掲載依頼をしてももらえないか。

委員H：すでに行っている。

ファシリ：今あがったポイントを留意して満額交付でよろしいか。

了承 全額で条件付き交付決定

委員A：この事業を見に行きたいのでお知らせがほしい。

事務局：対応する。

(1 3 : 1 2)

事業名：元気いっぱい おかみさん市

提案者：御殿場おかみさん会 について

委員 I：2 千円の食事代は高いのではないか。

一同：同意。謝礼も高い。

委員 I：持ち出し分の 1 3 万 1 千円があるので微妙である。

委員 A：イベント開催によりその時は人が来てくれるが、またさみしくなるのではないか。

ファシリ：「採択しない」という意見がなければ減額するかしないかを決めたい。

委員 D：この団体は歴史があり、これをやることによって団体の発展が見込まれる。

委員 C：満額交付するが、審査会でここがひっかかったと伝えるか。

ファシリ：食事代が 2 千円は高すぎると伝えるか。

委員 G：地域の活性化も兼ねているのでは。

ファシリ：2 千円が高すぎるという意見が多いので、食事代を 2 千円 / 人から 1 千円 / 人と 1 千円 × 4 1 人分の 4 万 1 千円減額し、補助金額を 2 5 万 9 千円としてよろしいか。

了承 4 万 1 千円減の 2 5 万 9 千円で交付決定

ファシリ：すべての団体に共通するが、税務上、各団体に源泉徴収や支払い証明を出すことを徹底するよう指導してほしい。 (1 3 : 3 2)

事業名：見直そう御殿場の椿～はじめよう椿とのふれあい～

提案者：御殿場椿の会

委員 E：これを取り上げるとあれもこれもとなる。公共のお金を使うのはどうかと思う。

委員 A：椿文化は守るべきか。

委員 G：個人的、当課的には分からないが、景観的な面ではどうなのか。今回の事業は会内部ではなく市民に向けたマップなどを作りたいと言っているので認めるべきではないか。

一同：広く公募するので、実採集買取代や椿地主謝礼は不要ではないか。

委員 J：これだけたくさんの事業ができるのだろうか。視察は会員だけではないのか。通信費の会員通信も不明である。

委員 C：視察は必要か。まずは市内の椿文化を知ってもらうことが大切ではないか。

委員 E：払う必要がない部分もある。

ファシリ：椿実原料代 9 万円、通信費 5 万円のうち会員通信分を差し引くため妥当と思われる 6 割 = 3 万円、視察費 8 万円のうち参加費収入として見込んでいる 6 万円を除く 2 万円の計 1 4 万円を引き、1 5 万円の交付決定でよろしいか。

了承 14万円減の15万円で交付決定

(13:55)

事業名：スポーツしよう～富士の麓で手をつなぐかい！～

提案者：駿腕

委員A：今のままだと協働とは呼べない。どう育てていくか。

委員F：この会はできたばかりで、本来は「はじめの一步」部門がふさわしいと思う。

支出予算項目をみると、レフリーが高いように見える。そこまでの公式的なレフリーを雇うほどの事業レベルなのか。まずは裾野を広げることが第一ではないか。

ファシリ：減額決定の方向でいくか。

委員F：会を育てる方向で補助金を使えば。

委員A：行政との話し合いの状況はどうか。

委員K：これから詰めていく様子。何かのイベントの際に子どもを集めてまずは楽しくやるのが良い。

ファシリ：公式大会で、レフリー、選手を集めてやるのも大切だが、まずは裾野を広げる、というのが皆さんの意見か。

委員I：団体の説明の中で、レフリーの謝礼は本来もっと高いが、安くしていただき、それは裾野を広げ、広く知って頂くためだと言っていた。基本的には認めてあげたい。裾野を広げることや運動のPR活動に重点を置いていただき、どこを削るか。

委員G：招待選手は不要では。

ファシリ：招待選手分の2万円を引いた12万8千5百円の決定でよろしいか。

了承 2万円減の12万8千5百円で交付決定

(14:20)